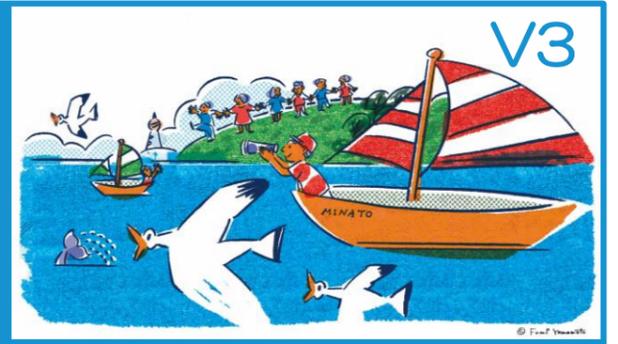


# 消滅危機言語の再活性化

地域言語コミュニティと研究者・専門家の協働による  
 地域言語学習コンテンツの制作・利用を軸とした言語の継承保存  
 山田真寛



## 1. 言語の記録保存と継承保存を並行して進める



UNESCO "Atlas of the World's Languages in Danger"

「日本に8つの消滅危機言語」

- ・実際は、これらの下位分類（方言）やほとんどの日本本土諸方言も消滅の危機

言語の記録保存：博物館に言語の記録を残す

- ・参照文法、辞書、自然談話資料による

### 言語の体系的な理解

言語の継承保存：話者の頭の中の言語知識を残す

- ・個人の寿命を超えた世代間継承の再開と維持

## 3. 地域言語学習コンテンツの制作と利用を軸にした言語の再活性化－「言語復興の港」プロジェクト



- ・地域言語の研究者、作家、デザイナーなどの人的リソース
  - ・ことばを楽しみながら学べる地域言語コンテンツ
  - ・他地域のコンテンツ制作と利用の経験
- を地域言語コミュニティと共有するプラットフォーム



絵描き



デザイナー



琉球諸語研究者



奄美大島



石垣島 宮古島



沖永良部島 沖縄島



### タッチポイント増加コンテンツ

- ｜地域言語に触れる機会を増やす
- ・地域言語は「役に立たない」…？
- ・地域言語って「おもしろい・かわいい・かっこいい」

### 多言語表記絵本パッケージコンテンツ

- ｜物語を楽しみながらことばや文化を学ぶ
- ・絵本・朗読音声・解説
- ・地域内の読み聞かせ会や家庭内で利用できる

- ・制作物やイベントは、目的ではなく手段。実現したいことのために必要なコンテンツを考える。
- ・作り手自身がほしいと思うもので、地域言語コミュニティもうれしくなるものを、研究者・専門家・地域言語コミュニティメンバーが協働してつくる。
- ・「親しみやすく楽しいもの」と「単語レベル以上の言語資料」をセットにする。
- ・コンテンツ制作過程を利用して、地域言語コミュニティに言語記録などのトレーニングを提供する。
- ・学術研究の成果を、データ提供者である地域言語コミュニティが利用可能なかたちで還元する。

## 地域言語コミュニティが、じぶんたちの手で言語の継承保存ができるように

### ・地方自治体との協働

コンテンツ制作や辞書編集を支援



### ・小学校との協働 (WS、夏休みの自由研究)

家庭内の地域言語使用促進を支援



### ・言語復興の港ウェブサイト

読み物コンテンツとして知識や経験を共有

